

令和8年度 シラバス（数学）

学番29 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科	科目	単位数	教科書名	副教材名等
数 学	数学 I	3	新編数学 I (数研出版)	新課程 教科書傍用 3 TRIAL 数学 I + A (数研出版)

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①コミュニケーション能力と自分で課題を発見し解決する能力を育成します。 ②各系列において必要な、基礎・基本の学力の習得を目指し、将来の進路実現に繋げる生徒の育成を目指します。 ③個性を生かし、各系列で創意工夫や発想力を活かし、豊かな感性で新しいものを生み出せる生徒を育成します。 ④社会の発展に貢献しようとする大きな志を持って、主体的に地域の生活を創造できる能力を持つ生徒を育成します。 ⑤自己を管理する力を持ち、他者への思いやりや、協働ができ、市民としての社会的責任を自覚する勤勉な態度の生徒を育成します。
カリキュラムポリシー	① 地域社会と積極的に連携し、協働する力や社会に役立とうとする意識を育成します。 ②「系列」に応じた様々な選択科目を設置し、生徒一人一人が主体的に興味・関心を広げ、力を伸ばす多様な選択を可能にします。 ③各系列での基礎学力の向上を目指し、卒業までに高い専門性を身に付けさせます。 ④各学年における探究的な学習活動や体験学習、教科横断的な学習により、深い学びを実践していきます。 ⑤各系列の多様な価値観や個性を持つ生徒との協働的な学びのフィールドを展開することで、他者を受容し開かれた自己を確立し、人間関係を築く力を育てます。

2 学習目標

到達目標、 具体的な取り組み 及び留意点	基礎的な知識の習得と技能を身につけさせるとともに、問題を解くうえで基本的な事項を整理し、それを発展させることにより、数学的な見方や考え方のよさを具体的に理解できるようにする。 (1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
----------------------------	---

授業形態及び 履修条件等	1 年次生必履修科目 習熟度別学習
-----------------	----------------------

3 指導の重点

- ・ 数学的活動を一層重視し、既習の知識と関連付け、より深く体系的に理解できることを目指す。
- ・ 命題の条件や結論に着目し、論理的に考察したり、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりできることを目指す。
- ・ 数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断できることを目指す。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・ 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・ 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ・ 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。	・ 数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断したりしようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習状況観察 小テスト 定期考査	学習状況観察 小テスト・課題プリント 定期考査	学習状況観察 課題プリントの取り組み 課題取組状況

6 学習計画

月	指導単元	指導内容	時間	考査及び 評価方法	評価のポイント
4	第1章 数と式	第1節 式の計算(8)	15	第1回考査 (1)	考査の素点 課題 授業の取り組み
5	第1章 数と式	第2節 実数(7)			
	第1章 数と式	第3節 1次不等式(6)	18	第2回考査 (1)	考査の素点 課題 授業の取り組み
6	第2章 集合と命題 第3章 2次関数	集合と命題(8) 第1節 2次関数とグラフ(4)			
7	第3章 2次関数	第1節 2次関数とグラフ(7)	7	7月末考査 (1)	考査の素点 課題 授業の取り組み
8	第3章 2次関数	第2節 2次関数の値の変化(6)	14	夏休み課題 テスト (1)	考査の素点 課題 授業の取り組み
9		第3節 2次方程式と2次不等式(8)		第3回考査 (1)	
10	第3章 2次関数	第3節 2次方程式と2次不等式(9)	20	第4回考査 (1)	考査の素点 課題 授業の取り組み
11	第4章 図形と計量	第1節 三角比(11)			
12	第4章 図形と計量	第2節 三角形への応用(9)	9	冬休み課題 テスト (1)	考査の素点 課題 授業の取り組み
1	第4章 図形と計量	第2節 三角形への応用(9)	14	第5回考査 (1)	考査の素点 課題 授業の取り組み
2	第4章 図形と計量	第2節 三角形への応用(5)			
3	第5章 データの分析	データの分析(6) 課題学習(2)	8		課題 授業の取り組み

計 105 時間(50 分授業)

7 課題・提出物等

授業への取り組みが大切となってきます。普段のノートや、授業中に使ったプリント・課題の提出などを予定しています。

授業での補足や演習，また家庭学習における「3 T R I A L」の取り組みについても，ノートやプリントの課題提出などで見ていきます。

8 担当者からの一言

最初は教科書の例題を参考にし，次の練習問題を同じ様にして数値をあてはめて解いてみましょう。授業での答えの説明の時にどこが間違っていたのか，すなわち公式の使い方が間違っていたのか，単なる計算ミスなのか，新しい解き方のポイントがあったのかなどを確認しながら答え合わせをして下さい。

授業で学習した内容はその日のうちに問題集で，教科書に沿っている所を復習し反復すると同時に応用・発展問題にも取り組んで下さい。そのことで考える力を養うことができます。ある程度の時間をかけても解けない場合には解答を見ることも必要ですが，納得するまで繰り返して解ける問題のパターンを増やしていきましょう。